（様式１）　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（用紙A４）

　　年　　月　　日

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　共同企業体の名称　　　　　　　　　　　　　　　　　代　表　者　　住　　　　所

　　　　　　　　　　　　　　　　　商号又は名称

代表者氏名

**技術資料提出書**

下記の工事の技術資料を提出します。

なお、提出します技術資料については事実と相違ないことを誓約します。

記

**１．工 事 名**

（総合評価）３・３・５中山石見線道路改築（その２４）工事（橋梁上部工）

**２．提出書類**

□　様式１　　技術資料提出書

□　様式２　　品質管理⑴について

□　様式３　　品質管理⑵について

□　様式４　　企業の施工能力（同種工事の実績）及び地域貢献について

□　様式５　　配置予定技術者の能力【第１候補】

□　様式６　　配置予定技術者の能力【第２候補】

□　様式７　　配置予定技術者の能力【第３候補】

※１．様式６、７は、本工事の入札公告に基づき、２名又は３名の技術者を配置予定者として申請する場合に記載してください。１名の技術者を配置予定者として申請する場合は、様式５のみ提出してください。

※２．提出書類は、左上をホッチキス留め又はクリップ留めすることで、１冊に綴じてください。

**３．問い合わせ先**

担当者　：　○○　○○

部　　署　：　○○部○○課

電話番号　：　（代）○○○－○○○－○○○○　［（内）○○○○］

（様式２）　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（用紙A４）

**品質管理(1)について**

工事名称：（総合評価）３・３・５中山石見線道路改築（その２４）工事（橋梁上部工）

　　　　　　　　　　　　　　　　 　　※共同企業体の名称は記載しないこと

|  |
| --- |
| 品質管理(1)について、記載すること。 |
| 提案1 | 提案タイトル | ○○○○○○ |
| 提案の目的・概要・効果など | ○○○○○○ |
| 提案２ | 提案タイトル | ○○○○○○ |
| 提案の目的・概要・効果など | ○○○○○○ |
| 提案3 | 提案タイトル | ○○○○○○ |
| 提案の目的・概要・効果など | ○○○○○○ |
| 提案4 | 提案タイトル | ○○○○○○ |
| 提案の目的・概要・効果など | ○○○○○○ |

注１）A4サイズ片面への記載で１枚を限度とし、図面等の補助資料を作成する場合は、A3サイズ片面への記載で１枚を限度として追加できる。ただし、他の様式の補助資料と兼ねることはできない。

注２）**本様式の枠線、文字間、行間等は変更しないこと。「提案」欄の文字サイズは１２ポイントとする。**

注３）提案の要旨、項目数等については、落札者決定基準に記載のとおりとする。

注４）提出者を特定することができる内容の記載はしないこと。

注５）**１提案当たり１対策を記載すること。**

（様式３）　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（用紙A４）

**品質管理(2)について**

工事名称：（総合評価）３・３・５中山石見線道路改築（その２４）工事（橋梁上部工）

　　　　　　　　　　　　　　　　 　　※共同企業体の名称は記載しないこと

|  |
| --- |
| 品質管理(2)について、記載すること。 |
| 提案1 | 提案タイトル | ○○○○○○ |
| 提案の目的・概要・効果など | ○○○○○○ |
| 提案２ | 提案タイトル | ○○○○○○ |
| 提案の目的・概要・効果など | ○○○○○○ |
|  |  |  |
|  |  |
|  |  |  |
|  |  |

注１）A4サイズ片面への記載で１枚を限度とし、図面等の補助資料を作成する場合は、A3サイズ片面への記載で１枚を限度として追加できる。ただし、他の様式の補助資料と兼ねることはできない。

注２）**本様式の枠線、文字間、行間等は変更しないこと。「提案」欄の文字サイズは１２ポイントとする。**

注３）提案の要旨、項目数等については、落札者決定基準に記載のとおりとする。

注４）提出者を特定することができる内容の記載はしないこと。

注５）**１提案当たり１対策を記載すること。**

（様式４）　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（用紙A４）

**企業の施工能力（同種工事の実績）及び地域貢献について**

工事名：（総合評価）３・３・５中山石見線道路改築（その２４）工事（橋梁上部工）

共同企業体の名称：

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 企業の施工能力（同種工事の実績） | 　実績の有無 | 実績あり　　　　　　・　　　　　　実績なし | 点数 |
| 　工事名称 | 　○○○工事 | 21　 0 |
| 　発注年度 | 　○○年度 |
| 　発注機関 | 　 |
| 　工事場所 | 　 |
| 　契約金額（最終） | 　￥　　　　　　　　　　　　　　　千円 |
| 　工期 | 　　年　　月　　日　～　　　　　年　　月　　日 |
| 　受注形態　　  | 　単体　・　共同企業体（出資比率　　　　　　　％） |
| 　工事内容　 　 |  |
| 　工事成績評定点 | 　　　　点 |
| 地域貢献 | 　市内企業の出資割合 | 　　　　　　　　　　　　　　％ | 10 |
| 　（貢献度）＝　（市内一次下請総数）÷　（一次下請総数)×１００(％) | 　　　　　　　　　　　　　　％ | 10 |

注１）契約金額は四捨五入して千円止めとする。

注２）記載内容が確認できる資料（契約書及びＣＯＲＩＮＳ（必要に応じて設計図書等）、工事成績通知書等の写し等）を添付すること。なお、同種工事と判る箇所をマーキングすること。ただし、記載内容が確認できない場合は評価しない。

注３）誤記又は記載漏れがあった場合において、それが軽微なものであり、かつ、添付資料等で確認できる場合は欠格としない。

注４）実績の有無及び、受注形態については、該当する項目を◯で囲むこと。

注５）市内企業の出資割合及び、貢献度は、小数点以下2桁目を四捨五入し、小数点以下1桁までの数値とする。

注６）点数については、落札者決定基準を参考に該当する項目を◯で囲むこと。

　（様式５）　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　　　　　　（用紙A４）

**配置予定技術者の能力について【第１候補】**

工事名：（総合評価）３・３・５中山石見線道路改築（その２４）工事（橋梁上部工）

共同企業体の名称：

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 配置予定技術者の氏名等 | 　　 | ○　○　　○　○ | 点数 |
| 監理技術者資格（取得年月日、登録番号及び登録会社）監理技術者講習（修了年月日、修了証番号） | 210 |
| 同　種　工　事　の　施　工　実　績 | 実　績　の　有　無 | 実績あり　　　　　　・　　　　　　実績なし |
| 従　事　役　職 | 監理技術者　　・　　主任技術者　　・　　現場代理人 |
| 工　事　名　称 | ○○○工事 |
| 発　注　年　度 | ○○年度 |
| 発　注　機　関 |  |
| 工　事　場　所 |  |
| 契約金額（最終） | ￥　　　　　　　　　　　　　　千円 |
| 工　　　　　　期 | 　　年　　月　　日　～　　　　　年　　月　　日 |
| 受　注　形　態 | 単体　・共同企業体（出資比率　　　％） |
| 工　事　内　容 |  |
| 資格の有無 | □　技術士（建設部門のうち選択科目が「鋼構造及びコンクリート」又は「施工計画、施工設備及び積算」であること）□ コンクリート主任技士□ プレストレストコンクリート技士□ 上記以外 | 10.50 |
| ＣＰＤＳ | 年　度 | 令和　　５　　年度 | 令和　　６　　年度 | 10 |
| 取得単位数 | 　　　　　　　　　　単位 | 　　　　　　　　　　単位 |

注１）契約金額は四捨五入して千円止めとする。

注２）記載内容が確認できる資料（契約書及びＣＯＲＩＮＳ（必要に応じて設計図書等）、監理技術者資格者証、監理技術者講習修了証、技術士登録等証明書、コンクリート主任技士の登録証書及び登録者証、プレストレストコンクリート技士の登録証書及び資格者証の写し等）を添付すること。なお、同種工事と判る箇所をマーキングすること。ただし、記載内容が確認できない場合は評価しない。

注３）誤記又は記載漏れがあった場合において、それが軽微なものであり、かつ、添付資料等で確認できる場合は欠格としない。

注４）CPDSについては、年度毎の学習履歴証明書を添付すること。なお、証明期間については、各年度の４月１日から３月３１日の１年間のものを添付すること。（証明期間が異なるものは無効とする。なお、証明期間と証明日は異なるため注意すること。）

注５）実績の有無及び従事役職、受注形態については、該当する項目を ○ で囲むこと。

注６）資格の有無については、該当する項目にチェック （☑） をすること。

注７）点数については、落札者決定基準を参考に該当する項目を ○ で囲むこと。

（様式６）　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　　　　　　（用紙A４）

**配置予定技術者の能力について【第２候補】**

工事名：（総合評価）３・３・５中山石見線道路改築（その２４）工事（橋梁上部工）

共同企業体の名称：

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 配置予定技術者の氏名等 | 　　 | ○　○　　○　○ | 点数 |
| 監理技術者資格（取得年月日、登録番号及び登録会社）監理技術者講習（修了年月日、修了証番号） | 210 |
| 同　種　工　事　の　施　工　実　績 | 実　績　の　有　無 | 実績あり　　　　　　・　　　　　　実績なし |
| 従　事　役　職 | 監理技術者　　・　　主任技術者　　・　　現場代理人 |
| 工　事　名　称 | ○○○工事 |
| 発　注　年　度 | ○○年度 |
| 発　注　機　関 |  |
| 工　事　場　所 |  |
| 契約金額（最終） | ￥　　　　　　　　　　　　　　千円 |
| 工　　　　　　期 | 　　年　　月　　日　～　　　　　年　　月　　日 |
| 受　注　形　態 | 単体　・共同企業体（出資比率　　　％） |
| 工　事　内　容 |  |
| 資格の有無 | □　技術士（建設部門のうち選択科目が「鋼構造及びコンクリート」又は「施工計画、施工設備及び積算」であること）□ コンクリート主任技士□ プレストレストコンクリート技士□ 上記以外 | 10.50 |
| ＣＰＤＳ | 年　度 | 令和　　５　　年度 | 令和　　６　　年度 | 10 |
| 取得単位数 | 　　　　　　　　　　単位 | 　　　　　　　　　　単位 |

注１）契約金額は四捨五入して千円止めとする。

注２）記載内容が確認できる資料（契約書及びＣＯＲＩＮＳ（必要に応じて設計図書等）、監理技術者資格者証、監理技術者講習修了証、技術士登録等証明書、コンクリート主任技士の登録証書及び登録者証、プレストレストコンクリート技士の登録証書及び資格者証の写し等）を添付すること。なお、同種工事と判る箇所をマーキングすること。ただし、記載内容が確認できない場合は評価しない。

注３）誤記又は記載漏れがあった場合において、それが軽微なものであり、かつ、添付資料等で確認できる場合は欠格としない。

注４）CPDSについては、年度毎の学習履歴証明書を添付すること。なお、証明期間については、各年度の４月１日から３月３１日の１年間のものを添付すること。（証明期間が異なるものは無効とする。なお、証明期間と証明日は異なるため注意すること。）

注５）実績の有無及び従事役職、受注形態については、該当する項目を ○ で囲むこと。

注６）資格の有無については、該当する項目にチェック （☑） をすること。

注７）点数については、落札者決定基準を参考に該当する項目を ○ で囲むこと。

（様式７）　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　　　　　　（用紙A４）

**配置予定技術者の能力について【第３候補】**

工事名：（総合評価）３・３・５中山石見線道路改築（その２４）工事（橋梁上部工）

共同企業体の名称：

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 配置予定技術者の氏名等 | 　　 | ○　○　　○　○ | 点数 |
| 監理技術者資格（取得年月日、登録番号及び登録会社）監理技術者講習（修了年月日、修了証番号） | 210 |
| 同　種　工　事　の　施　工　実　績 | 実　績　の　有　無 | 実績あり　　　　　　・　　　　　　実績なし |
| 従　事　役　職 | 監理技術者　　・　　主任技術者　　・　　現場代理人 |
| 工　事　名　称 | ○○○工事 |
| 発　注　年　度 | ○○年度 |
| 発　注　機　関 |  |
| 工　事　場　所 |  |
| 契約金額（最終） | ￥　　　　　　　　　　　　　　千円 |
| 工　　　　　　期 | 　　年　　月　　日　～　　　　　年　　月　　日 |
| 受　注　形　態 | 単体　・共同企業体（出資比率　　　％） |
| 工　事　内　容 |  |
| 資格の有無 | □　技術士（建設部門のうち選択科目が「鋼構造及びコンクリート」又は「施工計画、施工設備及び積算」であること）□ コンクリート主任技士□ プレストレストコンクリート技士□ 上記以外 | 10.50 |
| ＣＰＤＳ | 年　度 | 令和　　５　　年度 | 令和　　６　　年度 | 10 |
| 取得単位数 | 　　　　　　　　　　単位 | 　　　　　　　　　　単位 |

注１）契約金額は四捨五入して千円止めとする。

注２）記載内容が確認できる資料（契約書及びＣＯＲＩＮＳ（必要に応じて設計図書等）、監理技術者資格者証、監理技術者講習修了証、技術士登録等証明書、コンクリート主任技士の登録証書及び登録者証、プレストレストコンクリート技士の登録証書及び資格者証の写し等）を添付すること。なお、同種工事と判る箇所をマーキングすること。ただし、記載内容が確認できない場合は評価しない。

注３）誤記又は記載漏れがあった場合において、それが軽微なものであり、かつ、添付資料等で確認できる場合は欠格としない。

注４）CPDSについては、年度毎の学習履歴証明書を添付すること。なお、証明期間については、各年度の４月１日から３月３１日の１年間のものを添付すること。（証明期間が異なるものは無効とする。なお、証明期間と証明日は異なるため注意すること。）

注５）実績の有無及び従事役職、受注形態については、該当する項目を ○ で囲むこと。

注６）資格の有無については、該当する項目にチェック （☑） をすること。

注７）点数については、落札者決定基準を参考に該当する項目を ○ で囲むこと。